

皆さんお元気ですか

今年も「スーパーエルニーニョ」の影響などにより、猛暑・酷暑になると予想されています。もう聞き慣れた言葉かもしれないが、「熱中症」には十分お気を付けください。

私事ですが、3年ほど前の6月中旬、趣味のバイクツーリングでしまなみ海道へ行った帰りのことです。走行中、なぜかバイクがセンターライン側へ寄っていくような感覚があり、「何かおかしいな」と思い、点検のため吉野川サービスエリアに立ち寄りました。

すると、一歩歩いただけで激しいめまいに襲われ、人生で初めて熱中症と思われる症状を経験しました。その日はそれほど暑さを感じず、喉の渇きもありませんでした。が、知らないうちに熱中症になっていたことに驚きました。あのまま走り続けていたらと思うと、今でもぞっとします。

熱中症は、暑さをあまり感じていなくても、また喉の渇きを自覚していなくても発症することがあります。こまめな水分補給と適度な休憩を心掛け、元気で猛暑・酷暑を乗り切ってください。



今回も、詐欺のお話の後半です。

今年5月の新聞記事で、「遺産相続詐欺」の被害が紹介されていました。で、簡単にご紹介します。

徳島市に住む30代の女性がSNSを見ていたところ、「このサイトに登録したらお金がもらえた」という投稿を見つけ、そのアドレスをタップするとアプリが起動しました。すると、「ある女性が亡き夫の遺産2500万円をあなたに相続したいと言っています。受け取りを希望する場合はご連絡ください」というメッセージが届きました。

女性が受け取りを希望すると、「受取口座の認証費用3000円」や「登録諸費用5000円」など、さまざまな名目で次々と支払いを要求されました。女性は160回にわたり、合計約1100万円分の電子マネーを送信してしまいました。

その後、お金が底をついたことから家族に相談し、初めて詐欺であったことに気付いたそうです。

他県の事例では、「病気で余命がわずかなので、財産を整理して遺産を配りたい」「遺産相続でトラブルになっているが、あなたが受け取ってくれば解決する」など、さまざまな口実で近づいてくるケースが報告されています。

徳島県警は、今年上半年（1～6月）、徳島県内で88件、被害総額8億2915万円の被害が確認されたと発表しました。年間を通じて過去最悪だった前年同期より件数は2件減ったものの、被害額は1億5000万円余り増えています。直接会ったこともない相手からの遺産相続や投資話は詐欺を疑いましょう。また、手続き費用や登録料といった名目で、電子マネーで支払いを求めてくるのは詐欺の典型的な手口です。



吉野俳句同好会

日向葵の 大輪咲かず 休耕田
ひまわり たいりんさ きゅうこうでん

服部 俊次



以前、妻と県外旅行に足を運んだ時に見た、広大な面積に向日葵のイエロー（黄色）が未だに目に焼き付いています。

また、阿波市内でも、善入寺などあちこちで美しい向日葵の光景を楽しむことができます。